



## 牛乳がもっと美味しくなったよ！ ～給食に「拓陽キスミル」を提供～

県立那須拓陽高校の生徒が製造に携わったオリジナル乳酸菌飲料「拓陽キスミル」を、5月16日に西那須野・塩原地区の学校給食に提供しました。これは、那須拓陽高校と市の連携により実現したものです。当日は、同高生徒8人が大山小学校を訪問し、2学年の児童に、製品や牛乳についての説明を行った後、児童と一緒に給食を食べました。初めてキスミルを飲んだ児童からは「うんめ～！」といった歓声があがっていました。



## 新たな時代の新しい生活を応援！ ～令和のスタート 5月1日市民課開庁～

新時代の幕が開けた5月1日、新天皇の即位・元日の日に、ご結婚・ご出産された人への祝福の気持ちを込めて、みるひいグッズやお米をプレゼントしました。  
 かわいでてつお  
 婚姻届を提出した市内在住の川出哲生さん、佑紀さん夫妻は「記念撮影などもあり忘れられない日になった。これから2人で明るく、楽しく、健康に過ごしていきたい」と新生活への意気込みを幸せいっぱいの表情で話してくれました。



## 那須塩原でクールジャパンな体験を ～リンツ市の子もたちがホームステイ～

5月21日から28日にかけて、姉妹都市・リンツ市から24人の子もたちが本市を訪れホームステイを行いました。22日には弓道に初チャレンジ。初めは弓の持ち方や弦の引き方に悪戦苦闘の子もたちでしたが、次第にコツをつかみ、的に当たると周囲からは歓声が。体験したアドーラ・サバウさんは「日本の文化を体験できたし、的に当たってとても気持ちよかった。またやりたい」と笑顔で話してくれました。



1 見本演技では、静寂が包み緊張感が漂う 2 弦を引くのも一苦労。近くからでもなかなか的に当たらない 3 公民館で浴衣の着付けも体験 4 市役所を表敬訪問。みるひいは海外の子もにも大人気



## どろんこになりながら楽しく田植え ～御田植え祭り～

心地よい風がそよぐ快晴に恵まれた5月19日、三島地区の田んぼで御田植え祭りが行われました。伝承芸能として平成10年から行われているこの田植え体験。三島小学校の子もたち60人ほどが、那須苗取り田植唄保存会のメンバーとともに、慣れない泥に悪戦苦闘しながら昔ながらの田植えに挑戦しました。三島小2年の坂本憲一郎さんは、「初めて参加したけど何度も転んでしまっ大変だった」と話してくれました。



## 新緑の温泉街を快走 ～湯けむりマラソン全国大会～

5月19日、第42回塩原温泉湯けむりマラソン全国大会が開催され、1,469人のランナーが新緑の眩しい温泉街を駆け抜けました。  
 大会には、タレントの猫ひろしさんがゲストランナーとして参加し、「自分と同い年の大会に出られてうれしい」とあいさつしました。中学女子3kmの部で1位となった岡本可蓮さんは「最初は下りで楽だったけれど、折り返しから上りがきつかった」とレースを振り返り、笑顔で話していました。



## 見事！！入館者30万人達成 ～青木邸30万人記念～

平成10年に復元され一般公開が始まり、昨年5月に認定を受けた日本遺産を構成する国指定重要文化財「旧青木家那須別邸」。4月29日、入館者30万人突破を記念し、セレモニーが催されました。  
 セレモニーでは、菜の花を見に訪れたという福島県白河市と東京都三鷹市在住の友人同士2人に、30万人目の記念として市長から那須塩原ブランド品などが贈呈されると、「ぜひ、40万人目も目指したい」とにこやかに話してくれました。



## 伝統芸能の復活から37年 ～関谷城鉞舞～

4月29日、関谷地区の愛宕神社例祭において「関谷の城鉞舞」が奉納されました。  
 この城鉞舞は、戦国時代、大田原城の完成祝いの際、労役に駆り出された農民が即興的に鉞を持ち、樽を叩いて踊ったものが始まりといわれ、栃木県指定の無形民俗文化財となっています。  
 この日は、保存会のメンバーと地元の子もたちにより、一度は途絶えながらも37年前に復活した舞が披露され、多くの見学者を魅了しました。